

令和7年度

TMOA+ 個別研修

鳥取県立美術館ボランティアの

「TMOA+」に登録して  
ないけど研修に興味がある方、  
既に受けたけどまた受講したい方  
など、どなたでもご参加

OK

参加費無料／事前申込不要  
奮ってご参加ください！

## 対話鑑賞ファシリテーター 養成研修

### 第2回、第3回研修のご案内 [6月6日 or 7日 / 6月20日 or 21日]

鳥取県立美術館で実施している「MUSEUM START BUS」の対話鑑賞ファシリテーターとして活動していただくために、年間全5回の専門研修を実施しています。この5回の研修は、毎年同じテーマで、開催する計画としています。いま、医療現場や企業などからも注目を集めている「対話鑑賞」に関する講座。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

#### 第2回



#### みて、かんじて、かんがえる

～鑑賞で世界が豊かに見えてくる～

日程1 6月6日 [金] 13時～14時30分

鳥取短期大学 講義室 ◎この日は、鳥取短期大学の  
学生と一緒に講義を受けます。

日程2 6月7日 [土] 14時～16時

鳥取県立美術館 スタジオ2・3

【ゲスト講師】

神野 真吾 (じんの・しんご) 千葉大学教育学部 准教授

1993年東京藝術大学大学院修了、東京大学社会情報研究所(現情報学環)研究生を経て、1995年より山梨県立美術館学芸員として「現代美術百貨展」(2000年)、「新版日本の美術」展(2002年)などの現代美術展を企画。2006年より現職。アートの社会的価値についての理論的および実践的研究に取り組む。千葉アートネットワーク・プロジェクト(WiCAN)代表。角川武蔵野ミュージアム アート部門ディレクター、国立美術館の教育普及事業等に関する委員会委員なども務める。主な著書に「危機の時代とアート」(『岩波講座 哲学7巻』2008)、「社会の芸術/芸術という社会」(編著、フィルムアート社、2016)、「美術教育学の現在から」(『美術教育学叢書1』学術研究出版、2018)など。

今年は、同じ内容の研修を  
2日連続で開催！

#### 第3回



#### 対話型鑑賞の体験と理論 / 一人一回ファシリテーション実践

日程1 6月20日 [金] 13時30分～15時45分

鳥取県立美術館 ホール・ひろま ◎この日は、鳥取短期大学の  
学生と一緒に講義を受けます。

日程2 6月21日 [土] 13時～18時

鳥取県立美術館 ホール・ひろま

【ゲスト講師】

三ツ木 紀英 (みつぎ・のりえ) アートエデュケーター

NPO法人芸術資源開発機構 代表理事。90年代末から美術館や様々な施設で展覧会・ワークショップを企画。2011年にニューヨーク近代美術館の元教育部長フィリップ・ヤノウィンからVisual Thinking Strategies を学び、美術館や行政と連携し市民の対話型鑑賞ファシリテーターを育成してきた。人々の手によるアートを介したコミュニケーションが、美術館や学校や高齢者施設など地域で様々な展開してゆくことで、自律的に考える個人が共同する社会を目指している。共著:『現代アートの本当の楽しみ方ー表現の可能性を見つけにいこうー』(フィルムアート社/2015年)、『現代アートの本当の見方ー「見ること」が武器になる』(フィルムアート社/2014年)等。2021年 東京大学大学院学際情報学府 修士課程修了。

何度受けても参考になる、  
スキルアップの大チャンス！

鳥取県立美術館では、「対話鑑賞のファシリテーター」※を募集しています

※県内の小学4年生をバスで招待する事業「MUSEUM START BUS」で来館する子どもたちと一緒に展覧会場を巡り、お話ししながら作品を鑑賞していく案内役です。

6月6日  
6月7日

第  
2  
回

鑑賞を通して学ぶ21世紀を  
生き延びるための技能につい  
て学びます。

なぜアートと出会うことが重要なのか

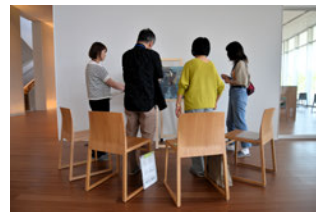
令和7年3月30日に開館した鳥取県立美術館では、対話鑑賞のファシリテーター養成研修を進めています。この研修では、全国でご活躍中の研究者等をお招きし、講演会やレクチャーを実施することにより、アートを通じた学びや作品鑑賞についての理解を深めるとともに、ファシリテーターとしての資質能力を高める機会を設けています。

今回の研修では、美術教育の研究者である千葉大学准教授の神野真吾氏をお招きし、アートと出会い、鑑賞することの重要性とそれによって培われるこれからの時代を生き抜くための技能を学び、ファシリテーションの基礎となる作品の見方や鑑賞者への働きかけの在り方について考える機会とします。

研修ごとに  
会場が異なるので  
お間違えなく！

あの「対話型鑑賞5時間スペシャル」を  
今年度も開催します！

※6月20日（金）は、学生用に時間を短縮して行います。  
内容は下記のとおりとなります。



昨年度の研修のようす

第  
3  
回

6月20日  
6月21日

6月21日のタイムテーブル

【第1部】対話型鑑賞の体験と理論

13:00 - 15:00

13:00	対話型鑑賞体験	三ツ木さんのファシリテーションで2作品対話型鑑賞を体験します。
14:00	対話型鑑賞の理論 (レクチャー)	体験した対話型鑑賞から、ファシリテーションの理論について学びます。

【第2部】一人一回ファシリテーション実践 15:30 - 18:00

15:30	ファシリテーション実践	4人くらいのグループで作品画像を使ってファシリテーションに挑戦します。
17:30	質疑応答	研修全体を通して、三ツ木さんに詳しく聞きたいことについて答えていただく時間をとります。

- ◎ 状況に応じて、時間は前後することがあります。
- ◎ 6月21日の講義を受講される方は、途中退室や途中からの参加も可能です。予定が事前にわかっている場合は、その旨をスタッフにお伝えください。

対話型鑑賞の体験と理論／一人一回ファシリテーション実践

養成研修3回目となる本研修は、NPO法人芸術資源開発機構（ARDA）の三ツ木紀英さんを講師に、対話型鑑賞について、体験→理論→ファシリテーション実践と、段階を追って学ぶことのできる2部構成となっています。

第1部では、三ツ木さんのファシリテーションで対話型鑑賞の楽しさや面白さを味わい、その後、対話型鑑賞の理論について解説を聞きます。

第2部は、「もっと実践したい！スキルアップを目指したい！」というたくさんの声にお応えする研修です。小グループに分かれて、交代でファシリテーターとなり、実践的に学べるチャンスです。ファシリテーションの経験がない方もお気軽にご参加ください。

「朝鑑賞」や  
対話鑑賞に  
関する授業相談も、  
随時受付中！



研修の年間スケジュールは、  
鳥取県立美術館のHPで  
ご覧ください。

問合先：鳥取県立美術館 学芸課 教育普及担当（佐藤・外村・山本）  
TEL：0858-24-5441 E-mail：tottori-museum@pref.tottori.lg.jp